



## IP Directed Broadcast

IP ダイレクトブロードキャストは、宛先アドレスが何らかの IP サブネットの有効なブロードキャストアドレスであるにもかかわらず、その宛先サブネットに含まれないノードから発信される IP パケットです。

宛先サブネットに直接接続されていないデバイスは、そのサブネット上のホストを宛先とするユニキャスト IP パケットを転送する場合と同じ方法で IP ダイレクトブロードキャストを転送します。ダイレクトブロードキャストパケットが、宛先サブネットに直接接続されたデバイスに到着すると、そのパケットはその宛先サブネット上でブロードキャストされます。パケットの IP ヘッダー内の宛先アドレスはそのサブネットに設定された IP ブロードキャストアドレスに書き換えられ、パケットはリンク層ブロードキャストとして送信されます。

あるインターフェイスでダイレクトブロードキャストがイネーブルになっている場合、着信した IP パケットが、そのアドレスに基づいて、そのインターフェイスが接続されているサブネットを対象とするダイレクトブロードキャストとして識別されると、そのパケットはそのサブネット上でブロードキャストされます。



- (注) ダイレクトブロードキャストのアクセス制御リスト (ACL) オプションは、vManage ではサポートされていません。

ダイレクトブロードキャストから物理ブロードキャストへの変換をイネーブルにするには、`ip directed-broadcast` コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、このコマンドの `no` 形式を使用します。デフォルトでは、`ip directed-broadcast` は無効になっていて、すべての IP ダイレクトブロードキャストがドロップされます。

### ip directed-broadcast および no ip directed-broadcast

#### 例

次に、イーサネットインターフェイス 2/1 上で IP ダイレクトブロードキャストの転送をイネーブルにする例を示します。

```
device# configure-transaction
device(config)# interface ethernet 2/1
device(config-if)# ip address 10.114.114.1 255.255.255.0
device(config-if)# ip directed-broadcast
device(config-if)# end
```



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。